

市民が自らスポーツを楽しみ 健康で生きがいを感じる まちづくりをめざして!

長岡市スポーツ振興基本計画ダイジェスト



親子と一緒に



仲間と共に



いつまでも
スポーツを

長岡市・長岡市教育委員会

■ スポーツ振興の基本目標

「市民が自らスポーツを楽しみ健康で生きがいを感じるまちづくり」

- (1) スポーツを自ら楽しむまち
- (2) スポーツ好きな子どもを育てるまち
- (3) スポーツ活動を支えることに喜びを感じるまち
- (4) スポーツ観戦好きなまち

■ 基本施策の方向と体系

(1) **するスポーツの振興【ライフステージ別スポーツ活動の促進】**

☆推進の方策：誰もが身近にスポーツを楽しむことができるようにするための方策

市民一人ひとりが生涯にわたって運動・スポーツ活動に親しむ態度や習慣をどのように定着・発展させるかという観点から、各ライフステージにおける運動・スポーツ活動との関わりに基づいた生涯スポーツ社会形成のための施策を展開します。

(2) **育てるスポーツの推進【熱中!感動!夢づくり教育活動との連携】**

☆推進の方策：子どもがスポーツを楽しみながらできる環境を実現するための方策

子どもたちのスポーツ活動の機会を学校教育現場のみに限定することなく、「熱中!感動!夢づくり教育」活動との連携を図る中で、地域においても楽しみながら身体を動かすことができる環境づくりを実現するため、指導者やコーディネーター（地域住民と行政との調整役）の養成・育成を積極的に推進していくとともに、地域においてスポーツ活動を展開する人材のネットワーク化を支援する体制づくりを推進します。

(3) **支えるスポーツの推進【市民協働による推進体制の整備】**

☆推進の方策：地域コミュニティにおけるスポーツ活動を支えるための方策

地域における多様なニーズに応え、コミュニティスポーツ活動の充実を図ることで、市民一人ひとりのライフステージに応じた運動・スポーツ活動を支え、「コミュニティスポーツクラブ」の設置促進等による自立した地域スポーツ社会の形成に向けた具体的施策を推進するため、関係機関との協働による推進体制を整備します。

(4) **観るスポーツの振興【地元のプロスポーツ観戦機会の増大】**

☆推進の方策：スポーツイベント等を観ることでスポーツに親しむための方策

スポーツを観ることで、そこで得る感動と興奮を家族・職場・地域等で共通の話題として共有し、家族や仲間とのふれあいが深まることによって連帯感や一体感が醸成され、地域の活性化にもつながります。市民の「観るスポーツ」を振興するため、「アルビレックス新潟」との連携等によりスポーツ観戦ができる機会の充実を図ります。

■ 計画の期間

本計画は、平成19年度から平成28年度までを計画期間とします。

なお、「長岡市総合計画」における前期基本計画年度終了時（平成22年度）に前期の実施状況を評価し、必要に応じて本計画の見直しを行います。

スポーツ振興の基本的考え方

総合計画

【政策】 人材と文化をはぐくむ人間性豊かなまちの実現
【施策の柱】 いつでも、どこでも、だれでも学べるまち

スポーツ振興基本計画

【基本目標】

市民が自らスポーツを楽しみ健康で生きがいを感じるまちづくり

☆スポーツを自ら楽しむまち ☆スポーツ好きな子どもを育てるまち
☆スポーツ活動を支えることに喜びを感じるまち ☆スポーツ観戦好きなまち

【施策の 4 本柱・推進項目】

する

【ライフステージ別スポーツ活動の促進】
・ 青年成人スポーツ活動の促進
・ 高齢者スポーツ活動の普及
・ 障害者スポーツ活動の充実
・ 学校と地域社会の連携

育てる

【熱中!感動!夢づくり教育活動との連携】
・ 子どものスポーツ活動の充実
・ 競技スポーツの充実
・ 指導者やコーディネーターの養成、配置

市民力・地域力・協働

支える

【市民協働による推進体制の整備】
・ コミュニティスポーツクラブの設置促進
・ 地元選手、チーム、クラブの市民挙げての支援

観る

【地元のプロスポーツ観戦機会の増大
(アルビレックスとの連携)】
・ 観る機会の拡大
・ 地元メディアとの連携

各地域に根ざしたコミュニティスポーツ活動の展開

スポーツ振興基本計画の施策体系

基本目標

施策の柱

推進項目

主な取り組み

市民が自らスポーツを楽しみ健康で生きがいを感じるまちづくり

する

青年成人スポーツの促進

コミュニティスポーツクラブの育成
地域対抗スポーツ大会等の開催
各種スポーツ教室の開催

高齢者スポーツの普及

マスターズスポーツクラブの育成
高齢者スポーツ大会の実施

障害者スポーツの充実

参加機会の充実
ノーマライゼーションの推進

学校と地域社会の連携

学校を拠点としたコミュニティスポーツクラブ
各団体の連携促進
効果的な学校開放

育てる

子どものスポーツの充実

乳幼児・少年期の運動機能、能力向上
少年スポーツクラブの育成
トップアスリートと子ども達の交流
学校体育の充実
学社連携の促進

競技スポーツの充実

競技力向上、育成強化システムの確立
国体等開催を契機とした地元選手育成

指導者やコーディネーターの
養成・配置

指導者やコーディネーターへの研修、養成
発掘、育成、配置、派遣システムの確立

支える

コミュニティスポーツクラブの
設置促進

コミュニティスポーツクラブの広報啓発
民間スポーツ施設・情報の利用促進
スポーツ振興関連助成金の活用促進

地元選手、チーム、クラブの
市民挙げての支援

スポーツボランティア・審判員の養成
優秀選手、指導者の激励、表彰
地元クラブやチームの住民支援

観る

観る機会の拡大

トップレベルのスポーツイベントの誘致
大規模大会の誘致、支援
親子のふれあい機会の促進

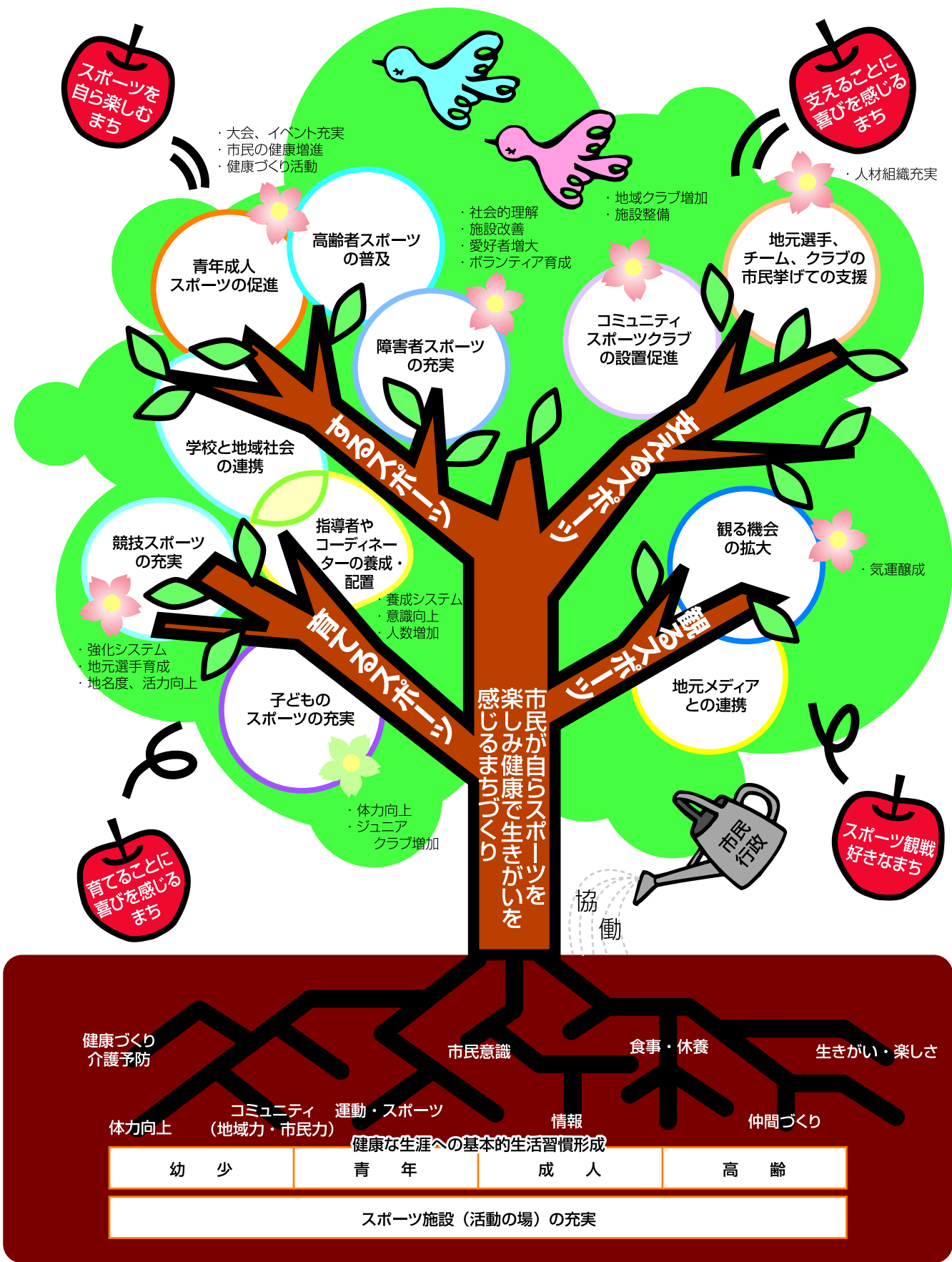
地元メディアとの連携

地元メディアとの連携強化

スポーツ施設の充実

生涯スポーツの推進

スポーツ振興のグランドデザイン



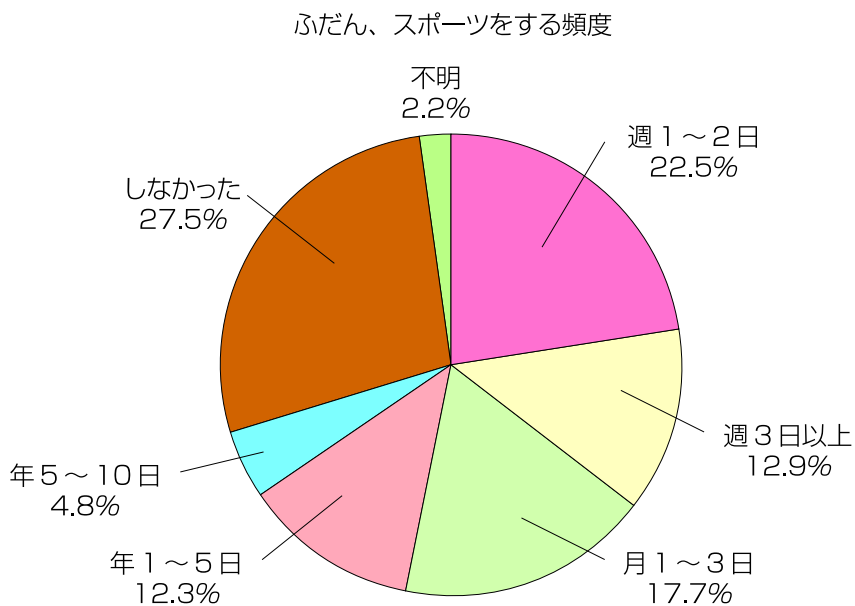
スポーツ活動を取り巻く長岡市の現状

●平成19年4月から5月にかけて「長岡市民の運動やスポーツに関する意識調査」を実施し、スポーツ活動を取り巻く本市の現状を集計分析しました。

- ・ 調査対象者 長岡市に居住する18歳以上の男女個人4,000人
- ・ 回答者数 1,699人（回収率42.5%）

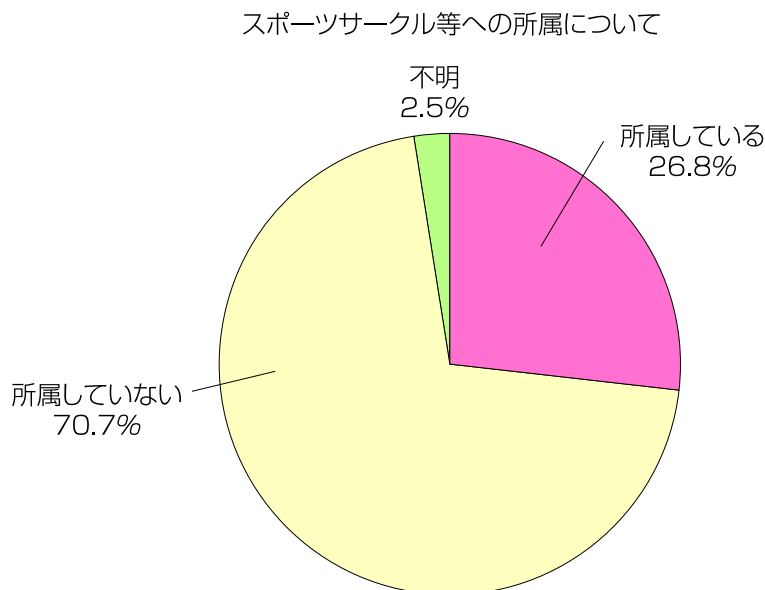
※調査集計結果より抜粋

問：あなたはふだん、どのくらいの頻度でスポーツ（運動、遊びなど身体活動を伴うもの）をしますか。



☆18歳以上の市民のうち週1回以上運動やスポーツを行った人の割合は35.4%である。

問：あなたは現在、定期的なスポーツ教室・クラブやサークル等に所属していますか。



☆18歳以上の市民のうち定期的なスポーツ教室やクラブ等に所属している人の割合は26.8%である。

基本施策の目標

- 計画を推進するための目安として、「長岡市総合計画」の前期基本計画終了年度（平成22年度）における成果としての具体的な数値目標を定めます。

なお、現状を示す指標としては、平成18年度に定めた「長岡市総合計画」の基準値及び平成19年度に行った「長岡市民の運動やスポーツに関する意識調査」の集計値を用います。

1. 長岡市総合計画の目標

- (1) 市民が身近な場所で運動やスポーツを行う拠点づくりを進める。

【市内の教室・クラブ開設数】

平成18年度：724クラブ → 平成22年度：900クラブ

- (2) ジュニア期からの選手育成強化システムの確立により、競技選手の育成・強化を推進する。

【市内の中学・高校生の全国大会県予選において、ベスト4に進出した選手数】

平成18年度：398人 → 平成22年度：500人

2. 長岡市スポーツ振興基本計画の目標

- (1) 18歳以上の市民のうち50%（2人に1人）が週1回以上運動やスポーツを行うことをめざす。
（総合計画前期終了年度までの中間目標）

【週1回以上運動やスポーツを行う人の割合】

平成19年度：35.4% → 22年度：50.0% → 28年度：65.0%

- (2) 18歳以上の市民のうち35%（3人に1人）が定期的なスポーツ教室やクラブ等に所属できる環境づくりをめざす。（総合計画前期終了年度までの中間目標）

【定期的なスポーツ教室やクラブ等に所属している人の割合】

平成19年度：26.8% → 22年度：35.0% → 28年度：50.0%



地域スポーツ推進組織の概要

- 子どもから高齢者・障害者まで地域の誰もが活動できる
- 活動拠点となる施設があり、定期的・継続的なスポーツ活動ができる
- 運営委員会を設け、コミュニティスポーツの推進及び調整にあたる
- 複数のスポーツ種目が用意されている
- 地域住民が自主的・主体的に運営している

